

千草子るる

題字 原あやめ

目次

- 会長就任挨拶 1頁
- 前会長退任挨拶／学校長挨拶 ... 2頁
- 在校生より 3頁
- 卒業生だより 4頁
- 山脇ニュース 5・6・7頁
- 研修旅行／会計報告／就職 8頁
- 学校案内 9頁
- お知らせ／千草会役員 10頁



29

年号

会長就任挨拶



百田 富美子

この度、片桐前会長の後任として会長の役をお引き受けることになりました。私はコスチュームデザイン科を卒業し、二年程学校に勤務しておりました。今は親の介護をしながら、俳句、水彩画、書道そして太极拳を学んでいます。当時学院長であられました原あやめ先生の「生きるということ」は努力の積み重ねです」というお言葉を大切に思い、座右の銘としております。

今年は学院創立八十八年目になります。先輩諸姉が長年にわたり築いてこられた礎の上に、時代に即した発展を遂げてまいりました。

このお役を受けるにあたり、過去の千草会報や記念誌に目を通させていただきました。第一号は昭和二十三年一月一日に発行されており、読み進めるうちに七十年の歳月

が巻き戻され、生き生きとした文章に、その時その時の一所懸命な学生生活の様子が伝わってきました。世代が移り世相も変わる中、これからも引き継がれていくことであらうと思っております。

私は時折学校を訪れますが、廊下などで男子の学生さんに出会うと、女子だけの時と違った活気を感じて頼もしく思います。文化祭や卒進展、校内の展示等で学生さんの作品を拝見する度に、その素晴らしさに驚き、また学年を経るごとに学習の成果が作品に表れていることが実感でき、嬉しく思っております。日頃学校と疎遠になっている卒業生の皆様もおられることと思いますが、是非ご来校いただき、生徒さんの展示作品をご覧いただきたいと思えます。

情報技術の進歩によりデザインツールも格段に発達し、無限の選択の可能性が提供されています。そのなかで、ソフトな感性を優位にしたデザインが求められているのではないのでしょうか。

今回会長という大役をお引き受けし、長い伝統のある千草会の発展と会員の皆様との親睦のため、微力ではありますが役員の方々と力をあわせて、精一杯努めさせていただきます。どうかよろしくお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

前会長退任挨拶



片桐 清子

此の度、千草会会長のお仕事を七年間を以って終わりにさせていただきました。

学生時代は宿題に追われていた日々でしたが、今回は会報作成等を通じて思いも寄らない経験をし、大変勉強になりました。

私にとって学校に足を運ぶ事は楽しみでした。廊下に展示してある作品を見たり、ケースに入っているジュエリーを一つひとつあれが欲しいこれが欲しいと思いつつあれり、学生さんの授業中の学んでいる姿、中庭での団欒の様子等々、見ているだけで自分も仲間の様なうれしい気持ちでした。

そしてその場所に一緒にいるという事が新鮮でした。学校の中にそう感じさせる雰囲気があったのだと思います。楽しかった思い出が沢山残っています。

最後になりますが色々な面で職員の皆様にご協力いただき感謝しております。

ありがとうございます。

学校長挨拶



学校長 横山 芳明

校名変更で 充実した専門教育を目指す

校門を一步出るとビルの影が色濃くコントラストを描いている今日この頃ですが、会員の皆様に於かれましては益々ご健勝のことと拝察申し上げます。

少子化が増々進み、大学も含め募集定員の確保が厳しい時代の中で、今、専門教育が改めて見直されている時代に來ております。山脇も時代のニーズに適合した教育内容の整備や教育環境の充実を図り、一人でも多くの優秀な学生を社会に輩出できるデザイン専門教育機関を目指し、四月より校名を「山脇美術専門学院」から「山脇美術専門学校」に変更いたしました。向後は山脇の建学の理念である「真・善・美」を継承し、歴史と伝統に支えられ、さらに高みある専門の

知識や技術を育む専門学校として新たな道を歩んでまいります。山脇では校名の変更に伴い、時代に即応したブランド力のある「山脇らしさ」を明確にスクールアイデンティティの確立を目指し、先ずは視覚的なイメージの統一として、恒久的に皆様に親しまれ、愛される校名のロゴを制作したいと考え、現在ロゴタイプの制作に向けて準備を進めております。創設の折は改めて皆様にご披露、ご報告させていただきます。我々は「千草会」に所属している数多の卒業生に支えられ、教職員は安心して学生指導に専心できる素晴らしい環境があり、実社会で活躍されている卒業生の足跡は広く山脇の社会的認知と高い評価に繋がり、就職実績の結果に現れております。本年度も千草会のご支援ご鞭撻を賜り、三年間の充実した教育プログラムで社会人としての豊かな人間力を身に付けた立派なクリエイターの卵達を輩出できるよう努めます。より良い学校作りに邁進して参る所存でありますので、宜しくお願い申し上げます。

末文にて誠に恐縮でございますが、皆様のご健康と益々のご発展、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

在校生より



ビジュアルデザイン科
 《1年》 小林 亜実
こばやし あみ

Visual design

入学して、気付いたら2か月が経っていました。地方出身の私にとって、新生活はとても新鮮であると同時に、不安を抱えながらの入学でした。しかし今では新しい仲間と毎日笑って過ごせています。毎日楽しくて仕方がない、そう思えるのは山脇に入ることができたからです。

一人ひとりをしっかり見て下さる先生方や助手さん。このありがたい環境で大好きな分野を学べる事はとても幸せです。

授業内容は幅広く、視野も広がっています。やりがいのある課題にたくさん取り組んでいるうちに、自分の成長に気付き、毎回ワクワクしながら挑戦しています。初めてのPCソフトもだんだん使えるようになってきました。

たった2か月でここまで出来ると思っていなかったのですが、3年後の自分たちの姿が楽しみです。

難しくても、難しくてもありますが、それを仲間と共にどう乗り越えるか一生懸命考えるのも楽しいです。これからも充実した日々を過ごせるよう、自分自身の努力を怠らないようにしていきたいです。



基礎デッサン 「静物着彩」



スペースデザイン科
 《2年》 佐藤 舞
さとう まい

Space design

山脇での生活も2年目を迎え、慌しくも有意義な毎日を送っています。入学時には漠然としていた建築への思いも、1年を経て少しずつではあるものの、自分の得意不得意、関心のあることが明確になり、将来仕事にしたい分野が定まってきたように感じます。建築という枠にとらわれず空間デザインとして様々な観点から、気持ちの良い空間とは何か？を追求してゆく山脇の授業のおかげです。日々の授業でも毎回発見があり、充実しています。出来る上がる作品はクラスメイト一人ひとりが全く違う魅力で溢れており、いろんな考え方やアプローチを知る中で、自分は何がしたかったのがよりはっきりとわかります。新たな引出しも加わり、思いもよらなかったアイデアが生まれたりするのも楽しいです。共に学び切磋琢磨する仲間の存在を大きく感じています。学生生活も折り返しとなりましたが、学生としての貴重な時間を無駄にせず、山脇で学ぶ知識や経験を社会で発揮できるよう、これからも頑張りたいと思います。



進級制作 私の家「水と光に出会う家」

入学して気がつけば3年目に突入していました。学ぶことが多く、忙しくも充実した日々を送っています。

物作りがしたいと入った都立工芸高等学校で彫金に出会い、その技術を活かした仕事に就きたくて、山脇でジュエリーについて学ぶ事を決めました。

貴金属による表現をさらに深く知るために伝統彫金技法を用いた作品制作に多く挑戦しています。

2年次の進級制作では、切り詰め・布目・線象嵌の3つの技法も用いて、私らしい世界をイラストで描くように金属で表現したくて、オブジェとしても使えるジュエリーを制作しました。途中何度も壁にぶつかりましたが、作りたいものがデザイン画から実物になった時の達成感は今まで一番大きかったです。

人を笑顔にする商品が作りたいと志望した株式会社ケイ・ウノさんに内定を頂くことができ、今後はクラフトマンとしてより一層制作に力を入れていきたいと思っています。

学生生活もあと1年、日々何事も楽しみながら沢山の事に挑戦していきたいです。



進級制作 「kiwi」



ジュエリーデザイン科
 《3年》 岡崎 麻里菜
おかざき まりな

Jewelry design



ビジュアルデザイン科 【2006年卒業】

佐々木 明奈

akina sasaki

株式会社 hooop

エディトリアルデザイナー

▶自分が手がけた雑誌が書店に並んでいるのを見かけると嬉しいです。一冊の雑誌でも、ページごとに内容に合わせていろいろなデザインテイストが求められるので、それもやりがいのひとつ。むずかしい話題も、読者目線に立ててできるだけわかりやすく、読みたくなる工夫を大切にしています。ファッションの世界からエディトリアルの世界に進路修正した私ですが、いまは毎日が充実。年々訪日外国人向けのフリーペーパーなどの需要も高まってきています。内容を理解しながらレイアウトできるよう、いまは中国語を勉強しています。



スペースデザイン科 【2007年卒業】

小澤 拓也

takuya ozawa

有限会社 デザインオフィス アドップ

オフィスレイアウト／内装設計

▶AutoCADを使って、大手事務用品メーカーが提案するオフィスの内装デザインの図面を制作しています。仕上がりから納期まで、つねに完璧が求められる仕事。図面を正確に描き起こすためにも、日頃から新しい素材などのチェックは欠かせません。正確な図面を描くのはもちろん、いつか自分でも働きやすいオフィスづくりのための提案をしてみたいと思っています。山脇では、課題提出は大変でしたが、楽しい思い出ばかり。クラスメートはみんな仲がよく、いまでもときどき会っているほど。アットホームな学校の雰囲気も懐かしいです。



ジュエリーデザイン科 【2007年卒業】

小林 宙

sora kobayashi

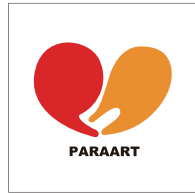
AURORA GRAN 株式会社

クラフトマン

▶ジュエリーブランドショップでクラフトマンとして働いています。女性向けのカジュアルなものが中心。繊細で細身のデザインがブランドの特長なので、クラフトマンとして腕の見せ所であり、やりがいを感じます。ジュエリーの世界はある種芸術に近い部分があり、美的な感覚が求められます。技術は経験を積みればそれなりに培われていきますが、センスは自ら積極的に磨こうとしなければ身につかないと思います。他ブランドのチェックをはじめ、ファッションや女性に流行のグルメなど、幅広くなんでも吸収するよう心がけています。

「パラアート」 ロゴマークデザインコンテスト

「パラアート」という呼称の国際的周知、パラアートの認識拡大のため、親しみやすいロゴマークデザインを募集。審査の結果、ビジュアルデザイン科の松下未沙さんが優秀賞を受賞し、藤田佳奈さんと、森さくらさんが佳作に入選しました。



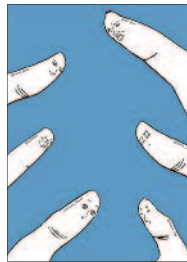
【優秀賞】

ビジュアルデザイン科1年次
松下 未沙

【佳作】 ビジュアルデザイン科1年次 藤田 佳奈
森 さくら

JAGDA 学生グランプリ2016

公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（略称「JAGDA」ジャグダ）が主催する、学生を対象としたポスターデザインコンペティション「JAGDA学生グランプリ」。今年の募集テーマは「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」。ビジュアルデザイン科の3年生がアートディレクションの授業課題の一環として参加し、芦沢拓郎さん、斎藤千夏さんの2名が見事に入選しました。



【入選】

ビジュアルデザイン科3年次
斎藤 千夏

【入選】 ビジュアルデザイン科3年次 芦沢 拓郎

第13回 インテリアデザインコンペ2016

募集テーマは「New Stage, Re インテリア-進化するインテリアデコレーションの出会いと発見-」。ファブリックやインテリア素材を使用し、「インテリアの可能性を自由に発想・表現した室内空間」の作品を募集。個人、グループ・団体、学生など、プロやアマチュアを問わず広く募集され、応募総数177点の中から見事「奨励賞」を受賞しました。



【奨励賞】 スペースデザイン科2年次制作（グループ制作）
浦 人方・武田 美・長坂 勇・福有 万慈

平成28年度 キッチン空間 アイデアコンテスト

キッチンへの一般生活者の興味・関心が高まることや使いやすい快適なキッチン空間が普及することを目指して、キッチン空間に関するアイデアを込めた作品を募集。個人、グループ・団体、学生など、プロやアマチュアを問わず広く募集され、応募総数379点の中から見事「優秀賞」を受賞しました。

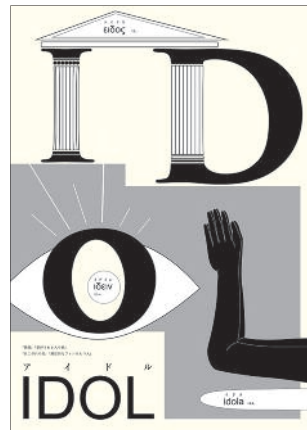


【優秀賞】 スペースデザイン科1年次制作 猪熊 和貴

第17回 デザイングランプリ TOHOKU 2016

『デザイングランプリTOHOKUは、プロのデザイナーとプロを目指している学生を対象に、グラフィックデザインの作品コンペを通して、互いのデザインの向上を目的とするものです。同時に、将来的なデザイナー育成の登竜門として、印刷産業界とデザイン関係業界の活性化を支援することを目的としています。』

本コンテストの学生部門に、ビジュアルデザイン科2・3年の学生が授業課題として応募しました。審査の結果、2年生の金栄一さんが最優秀賞（中村誠賞同時受賞）、江川明美さんが優秀賞（仙台市長賞同時受賞）を見事獲得しました。他学生も奨励賞や期待賞の各賞に入賞し、過去最多の受賞数となりました。また、数多くの賞を受賞したことから、学校としても表彰されました。



【最優秀賞】【中村誠賞】
ビジュアルデザイン科2年次
金 栄一



【優秀賞】【仙台市長賞】
ビジュアルデザイン科2年次
江川 明美

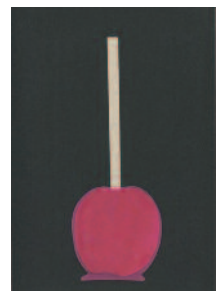
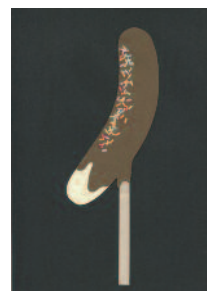
【奨励賞】 ビジュアルデザイン科2年次 小原 海莉
ビジュアルデザイン科3年次 新藤 彩夏

【期待賞】 ビジュアルデザイン科2年次 西海 雛
小野寺 弥生

第6回 YAMATO イラストレーションデザインコンペ

若者の発表活動をサポートするとともに、大和をイラスト溢れるまちに変えていくことを目的に、毎年全国の若者からオリジナリティに富んだイラスト作品を公募。今回のテーマは「祭り」。

応募総数508点の作品の中から、見事！ビジュアルデザイン科の片桐詩織さんが優秀賞を獲得しました。



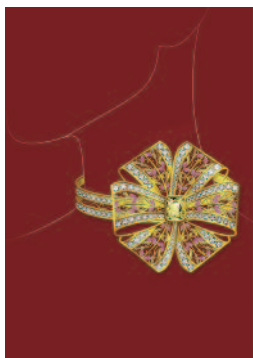
【優秀賞】 ビジュアルデザイン科2年次 片桐 詩織

JTO第12回 ジュエリーデザイン画コンテスト

本 コンテストは2年間休止していましたが、若手技術者や業界志望学生の育成のため、関係方面からの強い再開要望の声に押され、デザイン画部門のみ再開されました。応募総数104作品の中から、ジュエリーデザイン科2年生の山口莉沙さんが台東区長賞を受賞しました。

【台東区長賞】

ジュエリーデザイン科2年次制作
山口 莉沙



第4回 ベっ甲デザインコンテスト

日 本伝統工芸として認められている歴史ある工芸品「江戸ベっ甲」。その素材であるタイマイ（海亀）を使った自由な発想のデザインを募集。このコンテストは、都内の芸大、美大、美術系専門学校の学生が参加対象となり、東京鼈甲組合連合会から提供されたベっ甲の材料を使用した作品を実制作しました。平成29年2月11・12日の2日間、池袋の芸術劇場内のギャラリーで展示が行われ、来場者の審査投票によって受賞作品が決定されました。（応募総数46名、48点）審査投票の結果、見事！金田はるかさんが大賞を獲得しました。

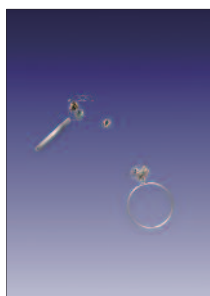


【大賞】 ジュエリーデザイン科1年次制作 金田 はるか

第7回 SUWAラフダイヤモンド ジュエリー コンテスト 2016

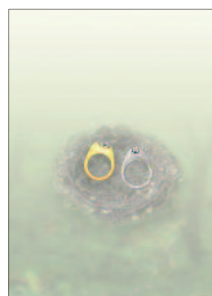
主 催は、国内外でジュエリーやダイヤモンド・カラーストーンのルース（裸石）の販売をしている諏訪貿易株式会社。今年の募集アイテムは『ペアリング』でした。コンテストには、学生・社会人を問わず135点の応募があり、本校からはジュエリーデザイン科13名が参加しました。1次審査を通過した16作品の中から見事、高橋 紗奈さんが「チャレンジデザイン賞」を受賞しました。また、白川 姫理さん、酒井 寛大さん、山口 莉沙さんが「佳作」として入賞しました。

7月21日～25日、本校の山脇ギャラリーにて、全ての応募デザインと入賞作品が展示されました。また、展示会初日には、表彰式とシンポジウム（テーマ：ラフダイヤモンドの魅力について）が開催されました。



【チャレンジデザイン賞】

ジュエリーデザイン科2年次
高橋 紗奈



【佳作】

ジュエリーデザイン科2年次
酒井 寛大

【佳作】 ジュエリーデザイン科2年次 白川 姫理
山口 莉沙

香港フェア 日本ジュエリー協会 JAPANパビリオン「装飾クラウンデザイン」

日 本ジュエリー協会より、香港フェア（香港で行われる国際宝飾展）JAPANパビリオン「装飾クラウンデザイン」の依頼があり、本校の学生4名がチャレンジをしました。

日本ジュエリー協会による審査の結果、スペースデザイン科猪熊和貴さんのデザインが採用されました。



【採用デザイン】

スペースデザイン科1年次制作
猪熊 和貴

Spring & Summer 2017 Tシャツデザインコンテスト

応 募総数891点の応募の中から、32作品が優秀賞として選出され、スペースデザイン科1年生の3名が受賞し、Tシャツとして商品化されました。



【優秀賞】 販売レース第9位

スペースデザイン科1年次制作
大石 奈菜



【優秀賞】

スペースデザイン科1年次制作
猪熊 和貴

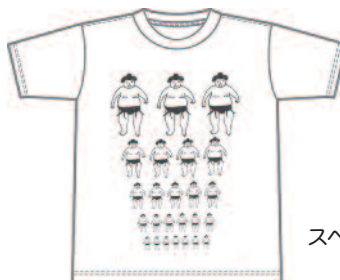


【優秀賞】

スペースデザイン科1年次制作
坂本 なつみ

第7回 バンフー 学生Tシャツデザインコンテスト

株 式会社帆風の主催によるTシャツデザインコンテストにスペースデザイン科2年生が授業課題として参加しました。応募総数778点の中から22作品が入賞し、浦人方さんが佳作を受賞しました。



【佳作】

スペースデザイン科1年次制作
浦 人方

Jewelry Design 映画『ティファニー ニューヨーク五番街の秘密』
公開記念ジュエリーデザインコンテスト

映画『ティファニー ニューヨーク五番街の秘密』公開を記念し、ジュエリーデザインコンテストが開催されました。上記テーマのもとに描かれたオリジナルジュエリーデザイン画の中から、6点が各賞に選ばれました。



【エレガンス賞】
ジュエリーデザイン科2年次
村木 汐里



【山脇奨励賞】
ジュエリーデザイン科2年次
長坂 勇

【未来デザイナー賞】ジュエリーデザイン科3年次 高橋 遼

【チャレンジデザイン賞】

ジュエリーデザイン科2年次 久保村 純平

【山脇奨励賞】ジュエリーデザイン科2年次 堀江 綾香
ジュエリーデザイン科3年次 佐藤 拓歩

Jewelry Design 第30回
国際七宝ジュエリーコンテスト

日本七宝会議は、日本の伝統工芸である七宝の普及と開発を目的として設立され、長年に渡り主催している「七宝ジュエリーコンテスト」は国際的にも高く評価されています。本校より、高橋遼さんの作品が入選しました。入選・入賞作品は、4月に「上野の森美術館」の展覧会にて展示されました。

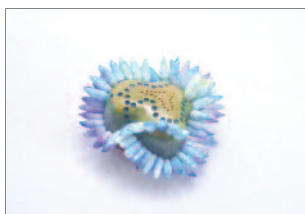


【入選】ジュエリーデザイン科2年次制作 高橋 遼

Jewelry Design 第29回 公募
2016日本ジュエリー展

この公募展は、隔年で開催されるジュエリー業界の中でも大きなコンペティションです。創造性、造形性を極め、新しいジュエリーの可能性を追求した質の高い作品を公募することで、時代とともに変化する価値観やライフスタイルの変化を見据えた新しいスタイルのジュエリーを提案し続けています。

under26部門に、柳生乃亜さんの卒業制作を応募した作品が入選しました。(under26部門応募者数70名中、入選者数25名) 2016年9月17日から11月14日にかけて全国4都市で展覧会が開催され、受賞・入選ジュエリーが展示されました。



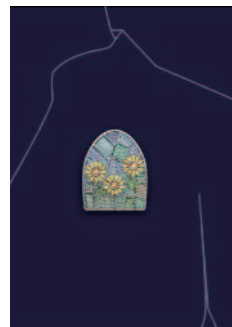
【入選】ジュエリーデザイン科3年次制作 柳生 乃亜



Jewelry Design フレッシュマン・ジュエリー・
デザイン・コンテスト 2017

ジュエリー集積産地山梨では、未来の宝飾業界発展のために様々な取り組みを行っております。将来の業界の担い手である若手デザイナーの自由な発想、デザインを発表できる場を提供することを最大の目的としており、クリエイティブな発想によるデザインや革新的なデザインの応募を期待しています。」

全応募作品から1次審査で100枚が選ばれ、第46回甲府ジュエリーフェアにて展示されました。展示されたデザイン画より、全国の宝飾バイヤーによる投票が行われ、各賞が決定されました。このコンテストに、ジュエリーデザイン科1・2年が授業課題として応募し、審査・投票の結果、山本佳苗さんが部門賞を、高橋紗奈さんが入選しました。



【部門賞】ジュエリーデザイン科2年次 山本 佳苗
【入選】ジュエリーデザイン科2年次 高橋 紗奈

Jewelry Design 第10回 宇和島
パールデザインコンテスト

職場や休日等、日常的に使えるおしゃれなパールジュエリーや、生活に潤いを与えるアイテムのデザインを広く募集し、フォーマルな装いに組み合わせるといったイメージが強い真珠の新たな可能性を宇和島から提案していく。

デザイン画による一次審査を通過した30作品が、実作品を制作して最終審査にのぞみました。このコンテストに、ジュエリーデザイン科2年が参加し、審査の結果、6名(7作品)が2次審査を通過して入選と特別賞を受賞しました。



【入選・愛媛県真珠養殖漁業協同組合協議会長賞】
ジュエリーデザイン科2年次 白川 姫理

【入選・えひめ南農業協同組合長賞】
ジュエリーデザイン科2年次 大平 可奈子

【入選・宇和島真珠販売業組合長賞】ジュエリーデザイン科2年次
大平 可奈子 小島 春奈 山口 莉沙

【入選・愛媛県漁業協同組合連合会長賞】ジュエリーデザイン科2年次
酒井 寛大 岡崎 麻里菜

Jewelry Design 第46回 伝統工芸日本金工展
[21+部門]

伝統工芸日本金工展は、国内金属工芸の最高峰ともいわれ、全国の金工作家を対象とした公募展です。学生及び30歳未満の若手金工家の育成のために設けられた[21+(にじゅういちぶらす)部門]に、本校ジュエリーデザイン科の6名が入選しました。



【入選】
ジュエリーデザイン科3年次
高橋 遼



【入選】
ジュエリーデザイン科2年次
大平 可奈子
【入選】ジュエリーデザイン科2年次 久保村 純平
岡崎 麻里菜
井上 奈緒子
金田 はるか
ジュエリーデザイン科1年次



●ジュエリーデザイン科は、ミレーを多く所蔵している山梨県立美術館、クリスタルミュージアム、山梨ジュエリーミュージアム、小さな蔵の美術館を見学しました。会社見学として、ラッキー商会と富士金属工芸社でジュエリーの製造現場、体験は陶芸と藍染め、昼食は郷土料理のほうとうと蕎麦・鳥もつ煮を食べました。講師の深澤先生が制作に携われた水晶モニュメントがある甲府駅も訪れ、甲府とジュエリー業界に少し親しみを持った二日間になりました。

ジュエリーデザイン科 根岸 麻実 記



●山梨方面へ。マリオ・ペリーニが手掛けた「リゾナーレ八ヶ岳」に始まり、北川原温設計「中村キース・ヘリング美術館とホテルキーフォレスト北杜」を見学。清春藝術村ではエッフェル設計の再現建築物「ラ・リュージュ」が出迎えてくれる。他に安藤忠雄氏設計「光の美術館」や藤森照信氏設計「茶室徹」の見学、スケッチを行なう。保坂猛氏設計の「ほうとう不動」でほうとうを食し、最後に久保田一竹美術館へ。スペースデザイン科は建築見学と自然を満喫した研修旅行でした。

スペースデザイン科 福澤 清子 記



●「清里フォトアートミュージアム」で多岐に渡る写真作品のコレクションを学芸員の方に案内して頂き、次の「えほんミュージアム清里」では国内外の絵本の原画展示を観て、印刷物との違いを味わいました。体験学習では、陶芸や藍染めなどの伝統工芸を制作しました。2日目の青木ヶ原樹海と富岳風穴は、樹海の成り立ちを教えてもらいながら、美しく澄んだ森を散策し、「河口湖オルゴールの森」では、世界最大級のダンスオルガンの演奏などを堪能し、日常体験できない有意義な時間を過ごすことができました。

ビジュアルデザイン科 井上 舞 記



会計報告・就職

千草会 平成28年度会計報告

入学時に納めて頂きました千草会の終身会費について誌上で会計報告させていただきます。

前年度繰越金	¥5,083,933
収入	千草会費 ¥1,350,000
	利息 ¥48
	計 ¥1,350,048
支出	千草会会報 発行費 ¥749,740
	郵便 ¥4,571
	千草会賞 ¥49,386
	運営費 ¥155,769
	その他 ¥1,483
	計 ¥960,949
次年度繰越金	¥5,473,032

とあります。卒業してからも気軽に相談にすることができ、そんな学校の雰囲気をごこれからも大切にしながら、在校生・卒業生の支援を行っていきたいと思います。

卒業してからも気軽に相談にすることができ、そんな学校の雰囲気をごこれからも大切にしながら、在校生・卒業生の支援を行っていききたいと思

張ってきた月日」でしょう。

卒業してからも気軽に相談にすることができ、そんな学校の雰囲気をごこれからも大切にしながら、在校生・卒業生の支援を行っていき

ただし内定はあくまでも「社会人としてのスタートラインに立った」に過ぎません。入社してからの方が大変なことも多いと思います。そして仕事をしていく上で支えになるのが、「山脇で頑張ってきた月日」でしょう。

卒業してからも気軽に相談にすることができ、そんな学校の雰囲気をごこれからも大切にしながら、在校生・卒業生の支援を行っていき

謝申し上げます。

平成29年度は前年度よりも早期化し、2月の合同講評会終了後すぐに活動をスタートした学生もいました。そして7月中旬の時点で約15名の学生が内定をいただくことができました。

就職先としては、卒業生が在籍する企業に入社するケースも多く、これも卒業生の皆様のおかげだと感じております。この場をお借りして感謝申し上げます。

平成29年度は前年度よりも早期化し、2月の合同講評会終了後すぐに活動をスタートした学生もいました。そして7月中旬の時点で約15名の学生が内定をいただくことができました。

卒業してからも気軽に相談にすることができ、そんな学校の雰囲気をごこれからも大切にしながら、在校生・卒業生の支援を行っていき

ただし内定はあくまでも「社会人としてのスタートラインに立った」に過ぎません。入社してからの方が大変なことも多いと思います。そして仕事をしていく上で支えになるのが、「山脇で頑張ってきた月日」でしょう。

卒業してからも気軽に相談にすることができ、そんな学校の雰囲気をごこれからも大切にしながら、在校生・卒業生の支援を行っていき

謝申し上げます。

平成29年度は前年度よりも早期化し、2月の合同講評会終了後すぐに活動をスタートした学生もいました。そして7月中旬の時点で約15名の学生が内定をいただくことができました。

就職について

平成28年度(29年3月卒業生)の内定率は96・2%でした。(スペースデザイン科・ジュエリーデザイン科が100%、ビジュアルデザイン科が93・8%)

就職先としては、卒業生が在籍する企業に入社するケースも多く、これも卒業生の皆様のおかげだと感じております。この場をお借りして感謝申し上げます。

平成29年度は前年度よりも早期化し、2月の合同講評会終了後すぐに活動をスタートした学生もいました。そして7月中旬の時点で約15名の学生が内定をいただくことができました。

学校案内

●学校は平成29年11月に創立88年を迎えます。これからも特色あるデザインの専門学校として邁進していく所存でございますので、今後とも入学・就職において、同窓の皆様からのご協力を宜しくお願い致します。

建学の精神の「真・善・美」に基づいた専門性と 人間力を養う教育で一人ひとりの可能性を引出します

「個々を大切にする教育」 1クラス15~20名の個別サポート

「3年制のデザイン専門学校」 就職に直結したカリキュラム

「最高の学習環境」 一人ひとりに専用の作業机、ノートパソコン支給

「コンペ実績」 毎年、多数のコンペに入賞実績

「充実した就職サポート」 サポートプログラムが充実、就職率100%を目指します



・ ビジュアルデザイン科 ・

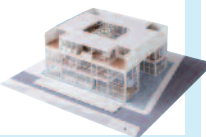
グラフィックデザインとWebデザインの両方を軸に「仕事に直結する授業」を行っています。イラストレーションや動画などの派生講座も充実。「発想力・企画力・コミュニケーション力を鍛える」課題も多数あり、時代のニーズに対応できるスキルが身に付きます。

ビジュアルデザイン科の3年間には、デザインセンスや感性も磨ける、多角的な授業が詰まっています。



・ スペースデザイン科 ・

住宅から、レストラン、ブティックなどの商業施設、快適に暮らすために必要な家具や照明などのインテリアエレメントまで幅広く学び、それぞれのニーズに最適な空間をデザインするスキルを身に付けます。実務に不可欠な構造、構法、材料、設備、法律、施行等の知識も必修科目で学び、卒業と同時に二級建築士の受験が可能です。在学中に商業施設士補、商業施設士の資格取得を目指します。



・ ジュエリーデザイン科 ・

ジュエリー制作の基礎技術から本格宝飾造形技術まで一貫したカリキュラムで学びます。段階を追って多くの制作課題をこなすことで、初心者でも確かな技術を身につけることができます。

「手から手へ」技術を伝える距離感を大切に、様々な技法・表現力を積み上げていく教育で、付加価値の高い技術とデザインセンスを併せ持つハイレベルなクリエイターを目指します。



『山脇子女奨学金のご案内』

ご親族が山脇に進学される場合、入学金の一部(5万円)を免除する「山脇子女奨学金」(他の奨学金との併用可)がございます。

※その他「特待生奨学金」(1年次の授業料全額免除)、推薦奨学金(1年次の授業料から31~10万円を免除)などございます。ご親族にデザイン分野への進学を希望される方がおられましたら、山脇を是非ご紹介ください。

※平成30年度に向けて、学校案内書をご希望の方にはご送付致します。

ホームページ アドレス <http://yamawaki.ac.jp/> 山脇ニュースやブログなど見所も沢山あります。

お知らせ

山脇祭

会期／平成29年9月9日(土)
10日(日)

10:00~17:00

テーマ／『こもれび』

開催場所／山脇美術専門学校内

【コメント】日頃の勉強の成果を皆さまに見て頂く作品展示、また、飲食やオリジナルのグッズ販売、ワークショップなど、山脇生が作り出す『こもれび』のような暖かく優しい空間へ皆さまをご招待します!!

SEBIT2018 東京都専門学校 アート&デザイン展

会期／平成30年2月20日(火)
~27日(火)

9:30~17:30(初日は14:00開・
最終日は14:00閉館13:30まで入場可)

開催場所／東京都美術館(ロビ-階第1・2・3展示室)

【コメント】この展覧会では東京都のデザイン&アート系専門学校の学生作品が展示されます。山脇3学科の作品はもちろん、他校の力作も一同に展示されます。見応えある展覧会です。是非とも、皆さまのご来場をお待ちしています。

卒業・進級制作展

会期／平成30年3月2日(金)
~6日(火)

11:00~19:00(最終日は17:00まで)

開催場所／山脇ギャラリー

【コメント】3年生は卒業制作を展示、1・2年生は1年間の集大成として進級制作の作品を展示します。学生たちの力のこもった作品を是非ご覧いただき、アドバイス・コメントを宜しくお願ひします。皆さまお誘い合わせの上ご来場下さい。

山脇ギャラリーより《これからの展示予定(一部)》

- 歩展 9月20日(水)~9月26日(火)
- 清水要展・茫洋の世界 10月4日(水)~10月11日(水)
- 第30回 バスケットリー展 10月27日(金)~11月2日(木)
- 第29回 全日本高校デザイン・イラスト展 11月10日(金)~11月15日(水)
- ムササ美2018 平成30年2月1日(木)~2月3日(土)

☆通常の開館時間は11:00~18:00ですが、展示初日と最終日は時間が異なる場合がありますので、お問い合わせ下さい。山脇ギャラリー TEL 03-3264-4027 ☆制作活動をされている方で作品発表の場所を御探しの際は、山脇ギャラリーを利用されてはいかがでしょうか。会員の方の参加をお待ちしております。



『在校生対象の教養講座を予定しています』

教養講座

江戸のタイポグラフィ

【日 時】平成29年11月8日(水) 13:45~

【場 所】山脇ギャラリー

【講 師】橘 右之吉先生(橘流寄席文字・江戸文字書家)

【コメント】授業の一環として、学生の人間性を高めるために、社会人としての教養を身に付けることを目的に、その道のプロの方に講演いただきます。

講師・教職員異動報告

▼退任された先生

丸山 裕平	深澤 明	富樫 優子	森 美香子	丸山 純夫	廣谷 純子	原 由紀子
スペースデザイン科	スペースデザイン科	スペースデザイン科	スペースデザイン科	スペースデザイン科	スペースデザイン科	スペースデザイン科

▼就任された先生

須藤加代子	篠原美代子	太田 律子	山崎 和美	福澤 清子	中村 衣里	木下 朋美	鈴木 慧美	中田 智巳	土肥 紗久良	山崎 桃子	福田 志穂	北澤 幸脩	馬場 栄里	篠原 一郎	桐井 英明	杉山 千尋	大島 佐和子	井上 舞	根岸 美穂	根岸 麻実	
ハンディークラフト研究科	コスチュームデザイン科	コスチュームデザイン科	服飾科	専任スペースデザイン科助手	ビジュアルデザイン科	ビジュアルデザイン科	ビジュアルデザイン科	スペースデザイン科	スペースデザイン科	スペースデザイン科	ジュエリーデザイン科	ジュエリーデザイン科	ジュエリーデザイン科	ジュエリーデザイン科	専任	専任	専任	専任	専任	専任	専任

千草会役員

百田 富美子	須藤 加代子	篠原 美代子	太田 律子	山崎 和美	福澤 清子	中村 衣里	木下 朋美	鈴木 慧美	中田 智巳	土肥 紗久良	山崎 桃子	福田 志穂	北澤 幸脩	馬場 栄里	篠原 一郎	桐井 英明	杉山 千尋	大島 佐和子	井上 舞	根岸 美穂	根岸 麻実	
コスチュームデザイン科	ハンディークラフト研究科	コスチュームデザイン科	コスチュームデザイン科	服飾科	専任スペースデザイン科助手	ビジュアルデザイン科	ビジュアルデザイン科	ビジュアルデザイン科	スペースデザイン科	スペースデザイン科	スペースデザイン科	ジュエリーデザイン科	ジュエリーデザイン科	ジュエリーデザイン科	ジュエリーデザイン科	専任	専任	専任	専任	専任	専任	専任